

“企業主導型” 保育事業 に参入された 経営者 の皆さまへ

「仕事と子育ての両立」を更に後押しする次の「こども」事業

児童発達支援事業

(小学校入学前の障害を持つお子様対象)

放課後等デイサービス事業

(小学校入学後から高校卒業前までの障害を持つお子様対象)

新規参入セミナー

個別相談を希望した方 全員に 簡易収支イメージ 贈呈

企業主導型保育事業が○○

上手くいっている

- ☑ こどもに対する福祉事業に興味が出てきた方
- ☑ こども事業をこれから発展させていきたい方
- ☑ 学童(小学生以上の預かり)に興味があるが、採算性の観点から一歩踏み出せない方

上手くいっていない

- ☑ 企業主導型保育事業の赤字分を補填したい方
- ☑ こども事業のブランディングを強化し、企業主導型保育園の定員を充足させたい方

2022年

4/7 (木)
13:00~16:00

5/13 (金)
13:00~16:00

船井総研 東京本社
東京都千代田区丸の内1-6-6
日本生命丸の内ビル21階

会場開催 (東京会場)



その場でコンサルタントにご質問・ご相談したい方、
WEBでのセミナー受講は苦手な方等 ぜひご活用下さいませ。

※感染症等の状況によって 急遽オンライン配信のみになる場合がございます、予めご了承下さい。
※講座構成の都合上、**ゲスト講座は会場にて事前収録映像を放映させていただく予定です。**

2022年

4/1 (金)
13:00~16:00

4/16 (土)
15:00~18:00

4/26 (火)
13:00~16:00

オンライン開催

パソコン・スマホでも
セミナー参加可能!

申込は
こちら



特別ゲスト講師



特定非営利活動法人

安芸ソーシャルサポートの会 日比 正規 氏

代表理事

児童発達支援・放課後等デイサービスが、
ここまで普及する10年も前から参入されていたその道のプロに
大切にしている理念から具体的な支援内容までお話をいただきます。

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業 新規参入セミナー お問い合わせNo.S083958

明日のグレートカンパニーを創る



Funai Soken

船井総研セミナー事務局 E-mail : seminar271@funaisoken.co.jp

※お問い合わせの際は「セミナータイトル・お問い合わせNO・お客様氏名」を明記の上、ご連絡ください。

株式会社 船井総合研究所 〒541-0041 大阪府大阪市中央区北浜4-4-10 船井総研 大阪本社ビル

WEBからお申し込みいただけます。(船井総研ホームページ [www.funaisoken.co.jp] 右上検索窓に『お問い合わせNo.』を入力ください。) →

083958

1 「発達障害」という言葉を聞いたことはありませんか

発達障害とは、生まれつきみられる脳の働き方の違いにより、幼児のうちから行動面や情緒面に特徴がある状態です。昔はよく「落ち着きがない子」「集中力がない子」等のように見逃されておりましたが、近年ようやく気付かれることが増えてきた特性です。「問題児」とみなされることも多く、養育者が育児の悩みを抱えたり、こども自身が生きづらさを感じる（自分の感情が上手く表現できず、癇癪を起す等）こともあります。



文科省の調査によると、**軽度発達障害児だけでも人口に対する発生頻度は8.2～9.3%**とされており、令和元年度に於ける未就学児の障害児サービスの利用児童数は約10.2万人（未就学児人口の約1.7%）ですから、**まだまだ適切な療育サービスを受けられずに困っているお子様や保護者がまだまだ多くいらっしゃいます。**（もしかすると、貴社の従業員にも悩まれている方がいるかもしれません）

また**手助けや見守りが必要な小学生以上のお子様を持つ母親の就業率は、**そうでない母親と比べて令和元年度時点でも**10%以上低く**、保護者、特に母親の職場復帰に影響を与えていることは明らかです。

発達障害は、あくまで「特性」ですので適切な療育を受けることで、社会の中で生きていく術を学び、社会に出てより活躍していく可能性を広げることが可能で、それはこどもの将来に対する保護者の安心にも繋がります。

2 企業主導型保育事業のみでサポートを続ける限界も

小規模（12名～19名）定員が多く、比較的きめ細かな保育サービスの提供がしやすい企業主導型保育事業では、一見、発達障害児に対する支援もしやすく、自治体から受け入れの打診をされた事業者様もいらっしゃるようです。しかし企業主導型保育事業は、認可保育所のように**療育加算**（障害児に対する職員の加配に対する加算）もなく、小規模であればあるほど**損益分岐点も高い**ので、なかなか思うような支援が難しいのが現状です。



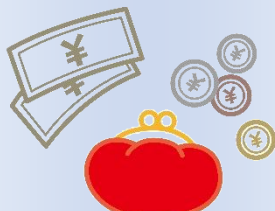
受け入れができたとしても**園の集団活動の中で、その児童にあったサービスを提供し続けるのも限界があり**、またその課題にぶつかった優秀で、将来性の高い保育士が**他の障害児関連の施設へ転職**してしまう、という現象も他方起きております。このようなお悩みを抱えている経営者様におすすめしたいのが、「**児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業**」です。

3 児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業とは

「児童発達支援事業」は**小学校就学前の児童**を、「放課後等デイサービス事業」は**小学校入学後から高校卒業前までの児童**を対象にした、**日常生活の自立支援や機能訓練**を行ったり、**様々な遊びや学びの場**を提供したりする**障害児向けの支援施設**です。

はっきりとした診断が出ていなくても、お子様の状況（お話が苦手、落ち着きがない、お友達作りが苦手等）次第で、これらのサービスを利用することができるのが特徴の一つです。**保育園との併用が可能**で、利用時も普段通っている保育園へ直接**送迎**することもできますので、**就労中の保護者も使いやすいサービス**となっております。

助成金制度



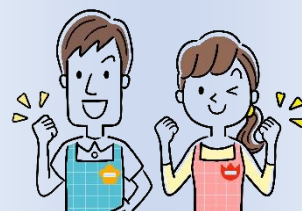
保護者負担は**1割**（所得によって上限あり）、**残りは自治体**が負担します。地域や職員の状況にもよりますが、**1回の利用あたり1万円前後の補助金**が収入として入ります。

建物設備



指導訓練室、事務室、相談室、トイレ等が必要で、**約25～40坪**（家賃としては**30万円以下**）の物件が適当です。送迎ができますので、保育園ほど**立地条件は難しくありません。**

人員配置

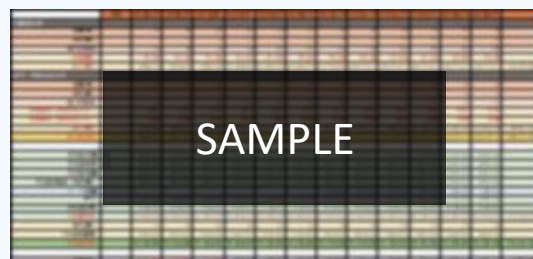


保育士経験**5年以上で責任者（児発管）**になれば、指導員にも保育士の他、教員免許を持つ人、教育学部を出た人等が従事できます。**既存保育士のキャリアステップ**にも有効です。

個別相談を申し込んだ方限定特典：簡易収支イメージ

セミナーを受講した上で、
もっと話を聞いてみたい！
具体的に何から始めればよいか相談したい！
現在、考えている物件や条件で進められそうか相談したい！
という方はセミナー附帯特典の個別相談会をご利用ください。

個別相談を申し込んでいただいた方限定で、
児童発達支援・放課後等デイサービス事業の
簡易収支イメージをプレゼントします。



特別ゲスト講師 安芸ソーシャルサポートの会 日比代表

「障害福祉事業（児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業等）」から
企業主導型保育事業に参入された 障害福祉のスペシャリストにお話いただきます。

ゲスト 講師



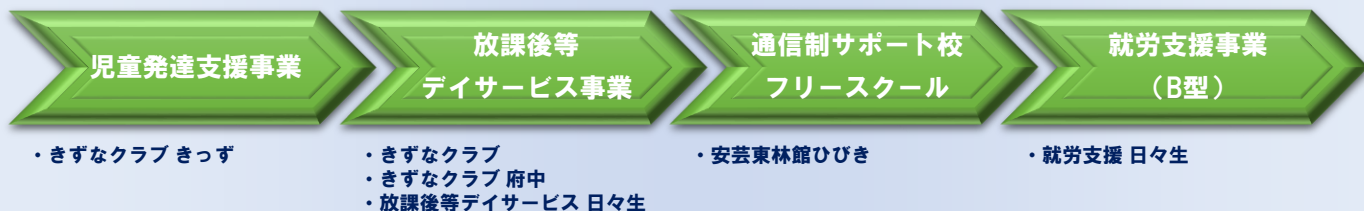
特定非営利活動法人

安芸ソーシャルサポートの会

代表理事 日比 正規 氏

2011年7月にこどもたちが幼児期から青年期を通じて地域社会で生活し、自立に向けて成長していく過程を保護者の皆様とともに支援をしていきたいという想いから法人を設立。利用者の皆様が地域社会で健やかに暮らし、主体的に生きていくためのお手伝いをしていくことを活動の方針として掲げ、広島県の安芸エリア（広島市安芸区、府中町、海田町）を中心に、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、フリースクール事業、通信制サポート校事業、就労支援事業、企業主導型保育事業等 複数事業を営む。

～切れ目のない 一貫した支援を実現～



ゲスト講座 では・・・

日比氏が 障害福祉サービス事業を営む上で大切にしている理念の他、なぜ 児童発達支援・放課後等デイサービス事業を始めたのか、児童発達支援・放課後等デイサービス事業では 具体的にどのような療育を提供しているのか、保護者支援ではどのような取組をされているのかについてお話いただきます。

セミナーで船井総研からお伝えする内容について（一部抜粋）

1 企業主導型保育事業と障害福祉事業のこれから

本セミナーは、企業主導型保育事業を営む経営者様向けのセミナーとなっておりますので、事業の存続や展開の観点から見た企業主導型保育事業と障害福祉事業のこれからと取るべき戦略について、保育事業と障害福祉事業を専門とするコンサルタントよりお話いたします（本セミナーは企業主導型保育事業を実施されていない方も 受講可能です）。

2 提供する具体的なサービス内容

「日常生活の自立支援や機能訓練」とは、具体的にどのようなサービスのことを言うのか、実際の事例をもとに、どのような療育サービスが実際に利用者から求められているのか、またその留意点等についてお話いたします

3 児童発達支援・放課後等デイサービス事業に参入する「Value=価値」とは

少子高齢化が進む中、子育て支援政策の重要性は年々増しており、子育てのしやすい社会を整え 少子化を食い止めたいという観点からも事業将来性が高いのがこども（子育て）関連事業です。特に 福祉サービスは、海外に外注するという事もできませんので、他事業に見られるような 海外企業による代替という事も起こりにくい分野ですし、公益性やブランディングの観点からも、貴社で実施する意義というのは非常に大きいと考えます。
児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業に参入することによる 社会に提供できる "Value"、地域に貢献できる "Value"、そして 法人にとっての "Value" は何なのかについてお話いたします。



本セミナーは **オンライン開催・会場開催（東京会場）**で開催します
ご都合のよろしい方法でご参加ください
（**ゲスト講座のみ** 両パターンとも **事前収録映像の放映**を予定しております）

講演内容・スケジュール

◆セミナー開催日時 ◇オンラインにて開催

2022年4月1日(金) 4月16日(土) 4月26日(火)
13:00~16:00 15:00~18:00 13:00~16:00
申込締切日: 3月28日(月) 申込締切日: 4月12日(火) 申込締切日: 4月22日(金)
ログイン開始: 12:30~ ログイン開始: 14:30~ ログイン開始: 12:30~

◆セミナー参加料金

一般価格(1名様)
税込 16,500円(税抜 15,000円)
会員価格(1名様)
税込 13,200円(税抜 12,000円)

◇会場(東京本社)開催日

2022年4月7日(木) 5月13日(金)
13:00~16:00 13:00~16:00
申込締切日: 4月3日(日) 申込締切日: 5月9日(月)
受付開始: 12:30~ 受付開始: 12:30~

諸事情により、やむを得ず会場を変更する場合がございますので、会場は受講票にてご確認ください。また最少催行人数に満たない場合、中止させていただく場合がございます。
尚、中止の際、交通費の払戻し手数料等のお支払いはいたしかねますので、ご了承ください。
新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、感染状況が収束するまでの期間は、録画等によるウェブ開催へ移行させていただく可能性がありますので、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

スケジュール

講座タイトルと講師紹介

第1講座

保育・福祉業界の現況と予測

株式会社 船井総合研究所 保育教育福祉支援部 マネージャー 堀内 顕秀

首都大学東京(現:東京都立大学)卒業後、株式会社船井総合研究所に入社。
保育・教育業界においては、保育園、幼稚園、認定こども園の活性化及び、認可保育所や放課後児童クラブの公募・プロポーザル・開設支援を実施。中小企業/法人から大手企業までの保育事業支援などを経験。昨今は企業主導型保育事業に関しても多くの開設実績を持つ。



第2講座

特別ゲスト講座

特定非営利活動法人 安芸ソーシャルサポートの会 代表理事 日比 正規 氏

2011年7月にこどもたちが幼児期から青年期を通じて地域社会で生活し、自立に向けて成長していく過程を保護者の皆様とともに支援をしていきたいという想いから法人を設立。広島県の安芸エリア(広島市安芸区、府中町、海田町)を中心に障害福祉サービスを複数展開している



第3講座

児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業に参入する「Value=価値」とは

株式会社 船井総合研究所 保育教育福祉支援部 リーダー 児玉 梨沙

東京大学教育学部で保育と教育に関する行政の諸対応を研究。
卒業後、船井総合研究所に入社。保育園の採用・定着・園児募集・ブランディングに加え、企業主導型保育事業や児童発達支援事業等の開設・運営支援等、幅広いテーマでコンサルティングを行っている。



第4講座

まとめ講座

株式会社 船井総合研究所 保育教育福祉支援部 マネージャー 堀内 顕秀

WEBのお申込について

WEBのお申込は、QRコード読み込みが簡単です!

スマホ・タブレットの方は、右記QRコードを読み込んでいただくとお申込フォームにアクセスできます。

◆本講座は、オンライン受講 もしくは 東京会場のいずれかをお選びいただいております。

※オンラインミーティングツール「ZOOM」を使用します。

ZOOMご参加方法の詳細は、「船井総研 web 参加」でご検索下さい。

※お申込に関してのよくあるご質問は「船井総研 FAQ」とご検索し、ご確認ください。



お申込ページ

<https://www.funaisoken.co.jp/seminar/083958>

TEL: 0120-964-000 (平日 9:30~17:30)

お問い合わせNO. S083958